

## NY マーケットレポート (2017年8月9日)

NY 市場では、北朝鮮情勢の緊迫化を背景としたリスク回避の動きが影響し、序盤のドル円・クロス円はやや軟調な動きとなった。特に、ドル/円は一時 6/15 以来、ユーロ/円は 7/6 以来の安値を付ける動きとなった。その後は、米非農業部門労働生産性、米卸売在庫・売上高がいずれも市場予想を上回る結果となったことを受けて、ドルは主要通貨に対して堅調な動きとなった。

また、円買いに一服感が出たことから、クロス円も堅調な動きとなった。ただ、米主要株価が下落したことなどもあり、その後は上値の重い動きが続いた。

### 2017年8月9日 (水)

TOKYO	終値	高値	安値
USD/JPY	109.82	110.37	109.75
EUR/JPY	128.98	129.75	128.72
GBP/JPY	142.93	143.38	142.48
AUD/JPY	86.58	87.35	86.29
EUR/USD	1.1743	1.1764	1.1719

LONDON	高値	安値
USD/JPY	109.87	109.66
EUR/JPY	129.10	128.61
GBP/JPY	143.04	142.50
AUD/JPY	86.75	86.30
EUR/USD	1.1753	1.1722

\*東京クローズ～NYオープンまでの高安

NEW YORK	終値	高値	安値
USD/JPY	110.02	110.16	109.56
EUR/JPY	129.38	129.40	128.44
GBP/JPY	143.06	143.11	142.28
AUD/JPY	86.77	86.84	86.43
NZD/JPY	80.72	80.74	80.34
EUR/USD	1.1758	1.1762	1.1689

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	22048.70	-36.64
S&P500	2474.02	-0.90
NASDAQ	6352.33	-18.13
コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1279.30	+16.70
NY 原油	49.56	+0.39

#### 8/10 経済指標スケジュール

08:01	【英国】7月RICS住宅価格
08:50	【日本】7月国内企業物価指数
08:50	【日本】6月機械受注
10:00	【オーストラリア】8月消費者インフレ期待
13:30	【日本】6月第三次産業活動指数
15:00	【ノルウェー】7月生産者物価指数
15:00	【ノルウェー】7月消費者物価指数
15:45	【フランス】6月製造業生産指数
15:45	【フランス】6月鉱工業生産
16:30	【スウェーデン】6月鉱工業生産
17:30	【英国】6月商品貿易収支
17:30	【英国】6月製造業生産高・6月鉱工業生産
18:30	【南アフリカ】6月鉱物生産量・6月金生産量
20:00	【南アフリカ】6月製造業生産
21:00	【英国】7月NIESR GDP予想
21:30	【米国】新規失業保険申請件数
21:30	【米国】失業保険継続受給者数
21:30	【米国】7月生産者物価指数
21:30	【カナダ】6月新築住宅価格指数
03:00	【メキシコ】政策金利発表
03:00	【米国】7月財政収支

米国債利回り	本日	前日
2年債	1.339%	1.355%
3年債	1.500%	1.505%
5年債	1.804%	1.825%
7年債	2.060%	2.086%
10年債	2.246%	2.273%
30年債	2.823%	2.856%

ドイツ10年債	0.428%	0.474%
英国10年債	1.109%	1.157%

#### 8/10 主要会議・講演・その他予定

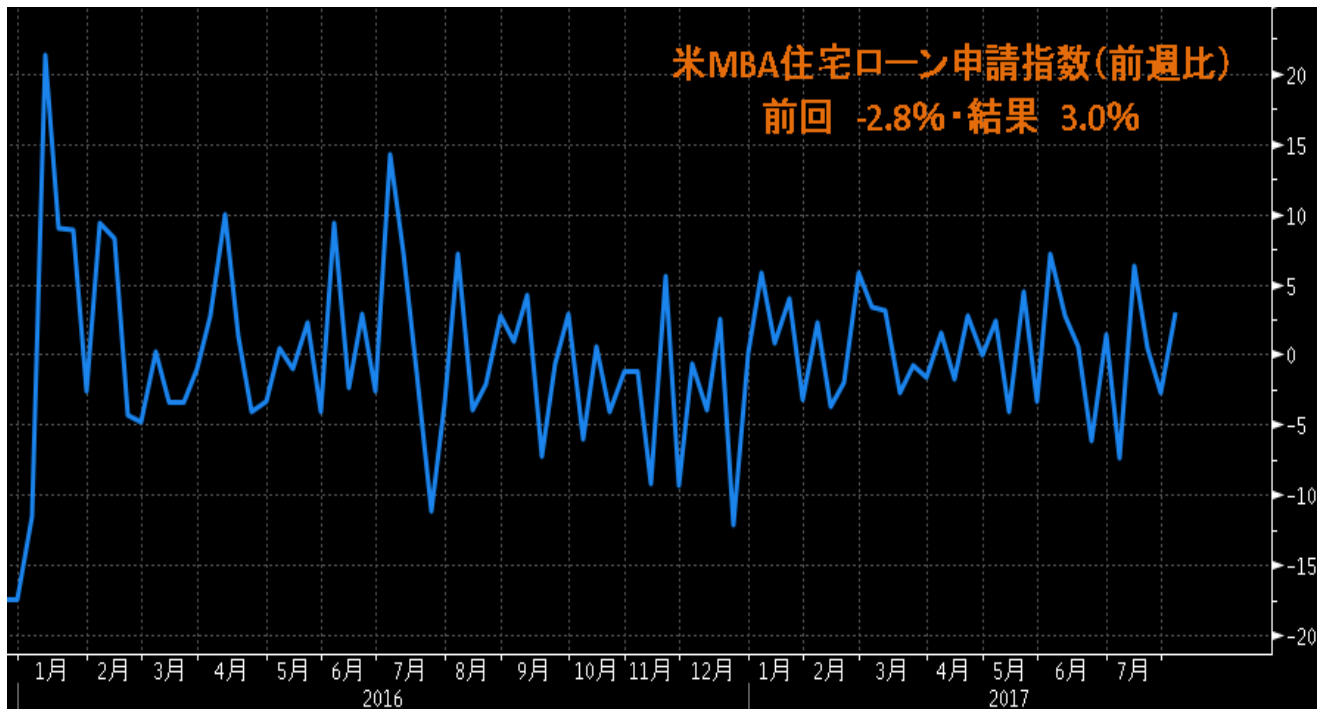
- ・ NY連銀総裁 会見
- ・ 米30年債入札

**NY 市場レポート**

20 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

米 MBA 住宅ローン申請指数 (前週比) 3.0% (前回 -2.8%)



出所 : Bloomberg

**指標結果データ**

◀MBA 住宅ローン申請指数▶

	8/4	7/28	7/21	7/14	7/7	前年同期
申請指数	3.0	-2.8	0.4	6.3	-7.4	-22.8
購入	0.8	-2.0	-2.2	1.1	-2.5	8.5
借換え	5.3	-3.8	3.4	13.0	-13.0	-41.2
固定金利	2.8	-2.7	0.3	6.3	-6.9	-24.4
変動金利	5.9	-5.4	2.4	6.4	-14.2	9.4

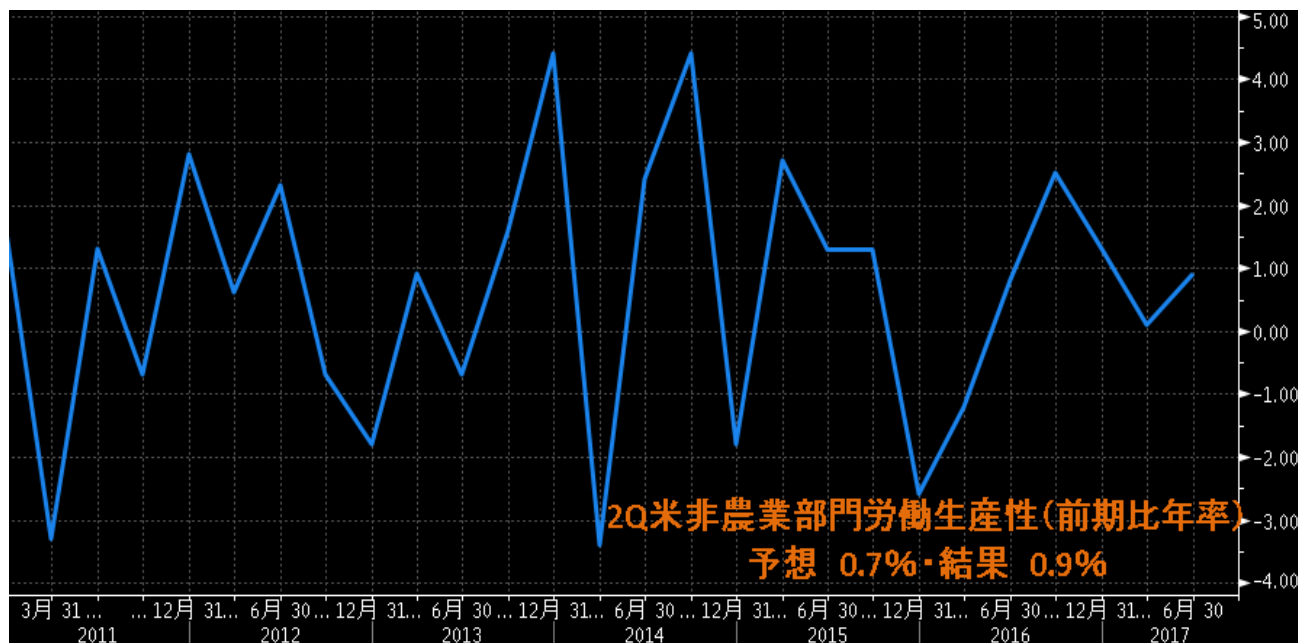
固定金利 30年 4.14 4.17 4.17 4.22 4.22

固定金利 15年 3.41 3.45 3.45 3.48 3.50

21 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

2Q米非農業部門労働生産性(前期比年率) 0.9% (予想 0.7%・前回 0.1%)  
 前回発表の0.0%から0.1%に修正



出所 : Bloomberg

経済指標データ

◀非農業部門労働生産性指数 ▶

4-6月	1-3月	10-12月	7-9月	4-6月
非農業部門労働生産性指数	0.9	0.1	1.3	2.5
生産	3.4	1.8	2.2	3.3
労働総投入量	2.5	1.6	1.0	0.8
時間あたり給与	1.6	5.5	-5.1	2.3
実質給与	1.9	2.3	-7.9	0.5
単位あたり労働コスト	0.6	5.4	-6.3	-0.2
単位あたり非労働コスト	0.5	-4.6	14.8	3.5
価格指数	0.6	0.9	2.3	1.3

(前期比、年率%)

米4-6月期の非農業部門の労働生産性の速報値は、年率換算で前期比+0.9%、前年同期比では+1.2%となった。賃金の指標である単位労働コストは、前期比+0.6%、前年同期比では-0.2%となった。労働生産性では、生産が前期比+3.4%、前年同期比では+2.7%。労働時間は+2.5%、前年同期比では+1.5%。時間当たりの労働報酬は、名目ベースで前期比+1.6%、前年同期比では+1.0%となった。物価動向を考慮した実質ベースでは、前期比+1.9%、前年同期比では-0.9%だった。製造業の生産性は、前期比+2.5%、前年同期比では+1.0%、生産は+1.6%、前年同期比では+1.5%、労働時間は-0.9%、前年同期比では+0.4%となった。

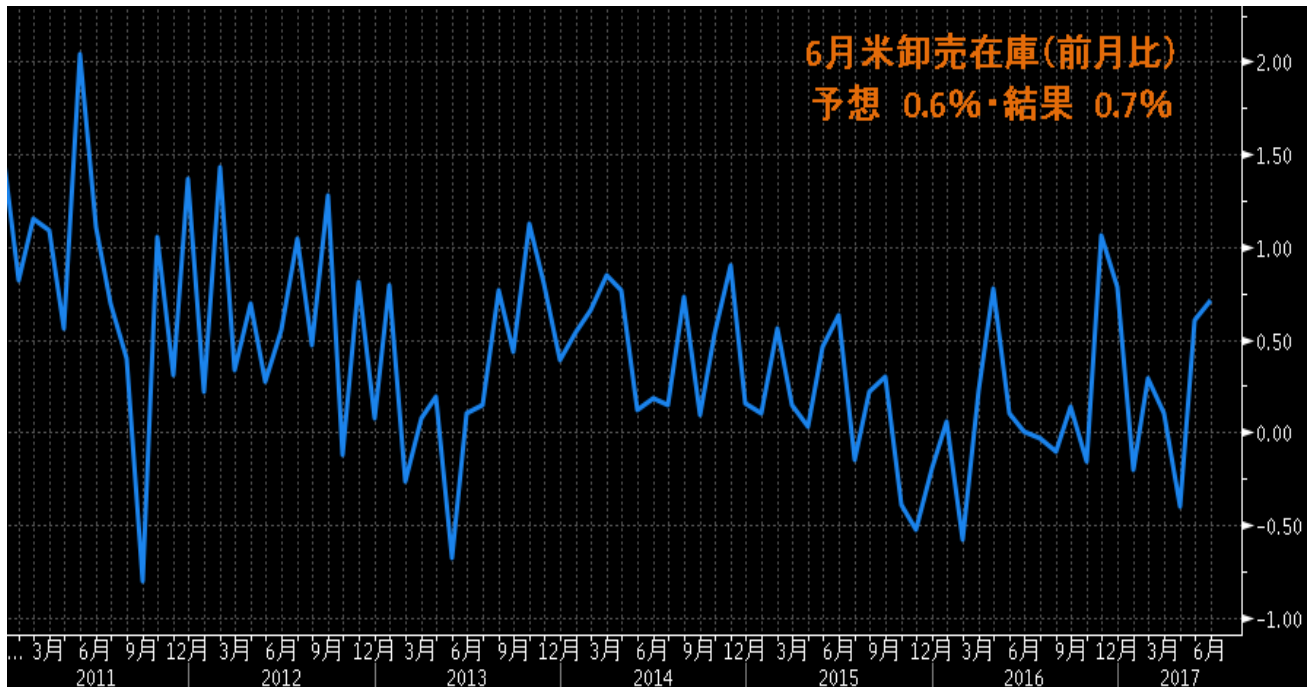
23 : 00

< 経済指標の結果 >

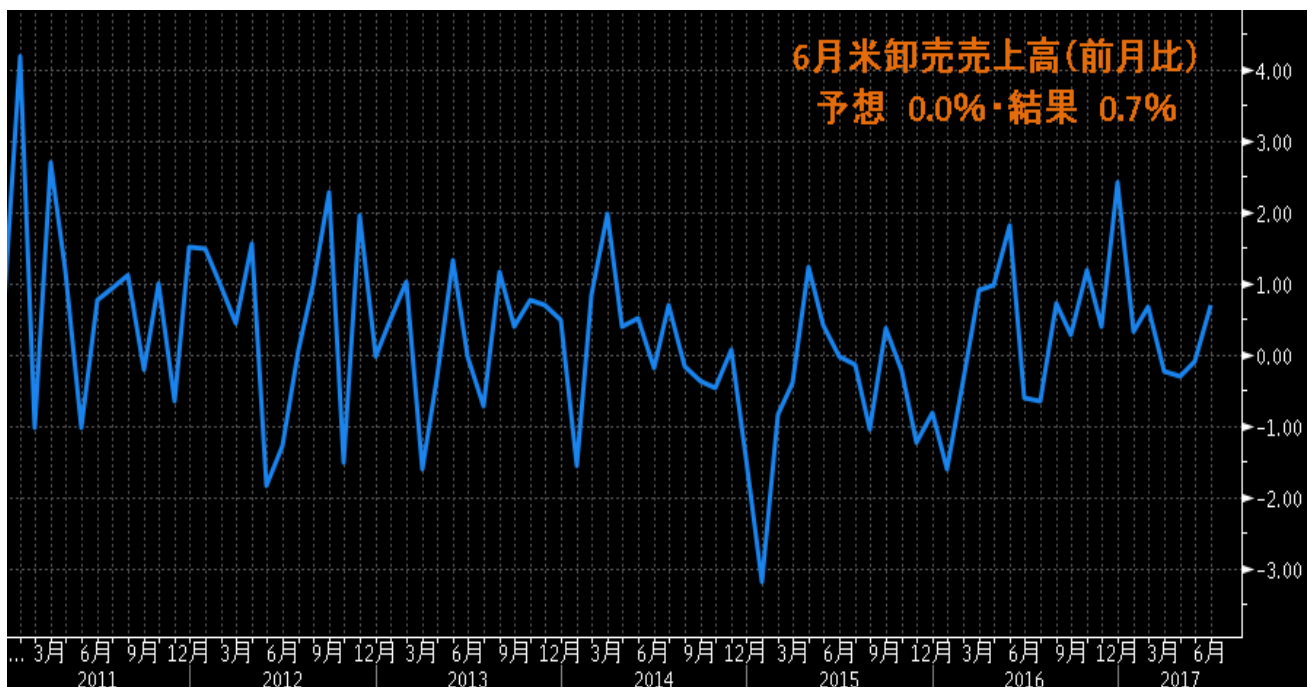
6月米卸売在庫(前月比) 0.7% (予想 0.6%・前回 0.6%)

6月米卸売売上高(前月比) 0.7% (予想 0.0%・前回 -0.1%)

前回発表の -0.5%から-0.1%に修正



出所 : Bloomberg



出所 : Bloomberg

## 指標結果データ

### 《米卸売在庫》

	6月	5月	4月	3月	2月
在庫合計	0.7	0.6	-0.4	0.1	0.3
耐久財	0.5	0.6	0.0	0.6	0.2
・自動車	1.4	0.6	-1.4	1.9	0.4
・機械	0.5	0.6	-0.1	-0.6	-0.2
非耐久財	1.0	0.6	-1.1	-0.7	0.4
・医薬品	2.4	0.2	-1.7	1.2	1.6
・食料雑貨	0.9	0.0	1.5	-0.3	-1.7
売上合計	0.7	-0.1	-0.3	-0.2	0.7
耐久財	0.0	-0.1	1.0	-0.2	0.4
・自動車	-0.5	-0.6	1.3	0.7	-5.1
・機械	-0.8	0.8	-0.6	1.0	3.2
非耐久財	1.4	-0.3	-1.4	-0.2	0.9
・医薬品	2.7	1.9	0.3	-0.3	0.1
・食料雑貨	0.8	1.0	0.6	1.7	-0.4

6月の米卸売在庫は、前月比+0.7%の5993億8900万ドル、前年同月比では+2.8%となった。耐久財は+0.5%となり、自動車は+1.4%、機械は+0.5%、家具は+0.6%、電気製品は-0.5%だった。非耐久財は+1.0%、医薬品は+2.4%、農産物は+2.5%、石油製品は-5.2%だった。

一方、6月の卸売売上高は、前月比+0.7%の4658億ドル、前年同月比では+5.5%となった。耐久財は横ばいとなり、自動車は-0.5%、機械は-0.8%。非耐久財は+1.4%となり、石油製品は+1.9%となった。在庫高は売上高の1.29ヵ月分に相当し、前月から変わらなかった。

## 23:30

### 《EIA米在庫統計》

原油在庫・・・645万バレル減少  
 ガソリン在庫・・・342万バレル増加  
 留出油在庫・・・173万バレル減少  
 クッシングの原油在庫・・・56.9万バレル増加

## 1:50

### 《要人発言》

#### マティス米国防長官

- ・「北朝鮮に核の追求を断念するよう警告」
- ・「北朝鮮は紛争を始めれば敗北する」
- ・「米国防省は、北朝鮮に関し外交的解決に努力している」
- ・「北朝鮮問題で外交手段の使用を望む」
- ・「外交努力が継続していると明言したい」
- ・「当然、北朝鮮問題では軍事の選択肢もある」

## 2:00

### 《米財務省10年債入札》

最高落札利回り・・・2.250%（前回 2.325%）  
 最低落札利回り・・・2.100%（前回 2.200%）  
 最高利回り落札比率・・・54.53%（前回 5.42%）  
 応札倍率・・・2.23倍（前回 2.45倍）

2:00

◀ 要人発言 ▶

エバンス・シカゴ連銀総裁

- ・「保有資産縮小は、金融環境に大きく影響する可能性は低い」
- ・「FRB 資産の縮小は、9 月発表が妥当」
- ・「最近の弱いインフレは、見通しに疑問を生じさせる」

2:15

◀ 要人発言 ▶

ブラード・セントルイス連銀総裁

- ・「G7 諸国は低成長・低インフレ下にある」
- ・「FOMC は下向きのインフレに驚いている」
- ・「FOMC が金利政策で積極的過ぎるリスクがある」
- ・「バランスシート縮小はゆっくりと漸進的に開始へ」
- ・「米経済成長は今後数年、2%前後で推移する可能性」
- ・「景気後退の兆しはないが、何があるか分からない」
- ・「弱いドルは妥当、欧州の景気回復で」
- ・「利上げ以降、インフレ期待が低下していることを懸念」
- ・「インフレ率の目標未達成が続けば、信頼性が損なわれる」
- ・「低失業率、物価圧力にあまりつながっていない」

◀ NY 原油市場 ▶

NY 原油は、中心限月が前日比 0.39 ドル高の 1 バレル=49.56 ドルで取引を終了した。

NY 原油は米石油在庫統計で、原油在庫が市場の予想以上に減少したことが好感され、買いが優勢となった。ただ、ガソリン在庫が予想外に増加したこともあり、上値は限定的となった。



出所：Bloomberg

### 《米株式市場》

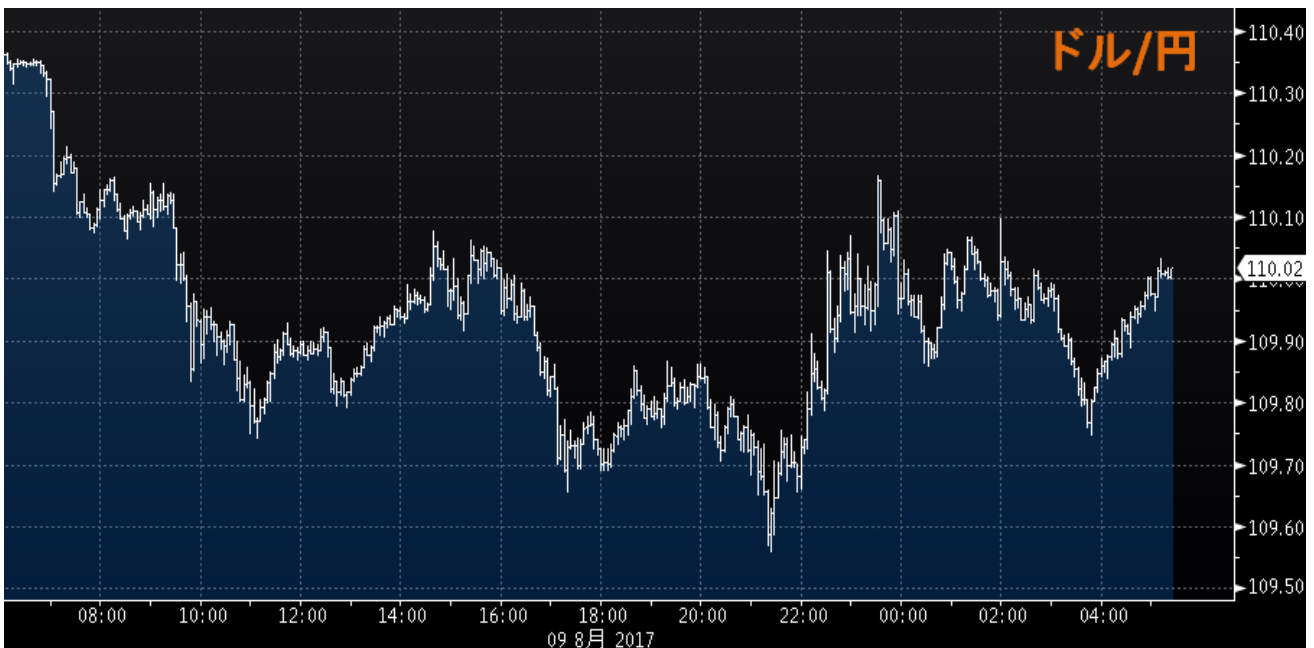
米株式市場は、北朝鮮情勢の緊迫化を背景に、投資家のリスク回避の動きが強まっており、序盤から売りが優勢となった。また、前日引け後に発表された娯楽・メディア大手の4-6月期決算が減益だったことも影響し、主要株価は軟調な動きが続いた。



出所：Bloomberg

### 《外国為替市場》

外国為替市場は、アジア市場から北朝鮮を巡る地政学リスクが意識され、比較的安定とされる円を買う動きが優勢となった流れを引き継ぎ、序盤のドル円・クロス円はやや軟調な動きとなった。しかし、その後は円買い一服感や、米経済指標が予想を上回る結果となったこともあり、堅調な動きとなった。ただ、株価が軟調な動きとなったことなどもあり、その後は上値の重い動きが続いた。



出所：Bloomberg

---

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。